

第11章 児童生徒の学力向上のための県教育委員会による今後の取組

《県教育委員会による今後の取組》

子どもたちがわかる喜びを実感するために、
これまで以上に創意工夫した取組を進めてまいります

1 これまでの取組の徹底

- ① 全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシートの3点セットを活用した授業改善、授業研究等の組織的取組の徹底

【具体的な取組】

- ・全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック実施後に自校採点研修会実施
- ・学力向上に特化した校内研修の支援

- ② 県指導主事等による学力向上に向けた効果的な取組の周知・徹底

【具体的な取組】

- ・県教育委員会の横断的な取組としての県指導主事・研修主事等の学校訪問
- ・小中学校長研修会の開催
- ・学力向上のための情報発信

- ③ 家庭での生活習慣・読書習慣の確立

【具体的な取組】

- ・県PTA連合会と連携した生活習慣・読書習慣「チェックシート」の活用の促進

2 県内外の先進校視察を踏まえた有効な取組 (学校における組織的・継続的な学校体制づくり)

【具体的な取組】

- ・全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果に見られる課題に対応したワークシートの速やかな作成・配信
- ・学力向上に向けた効果的な授業スタイル、ノート指導、宿題の出し方等の整理・検討
- ・国の調査官を招いての研修会等の開催

3 地域とともにある学校づくりの促進

- ① コミュニティ・スクール（CS）、学校支援地域本部等の取組の充実・拡大
【具体的な取組】
 - ・ CSに向けた段階的な取組も三重県型CSとして積極的に支援
 - ・ 地域未来塾等を活用した学習支援を促進
- ② 学校からの積極的な情報発信（全国学力・学習状況調査の分析結果等、家庭・地域との情報共有）
【具体的な取組】
 - ・ 保護者・地域の学校教育への理解・協力を得るために、調査結果等の情報共有を促進

4 教育環境の改善

- 【具体的な取組】
- ・ 少人数指導のための教員定数の維持及び配置の工夫
 - ・ 小規模な市町等教育委員会に対する支援
 - ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の活用の充実
 - ・ 子ども支援ネットワークモデル中学校区支援（毎年10校区程度を指定）

等

県教育委員会では、「毎日が未来への分岐点」との認識のもと、子どもたちが「やればできる」と実感できる達成感ある取組を市町等教育委員会、学校とこれまで以上に連携し進めてまいります

《主体的な取組に向けて》

学校関係者の皆様へ

全国学力・学習状況調査の学校質問紙調査結果の分析からは、多くの学校において学力向上に向けた取組が進んできていることが明らかになっているところです。引き続き、校長のリーダーシップのもと、学力向上に向けた授業改善、教員の指導力の向上に、組織的・継続的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

さらに一層の取組の充実を図るため、調査結果から見えてきた課題を次に挙げます。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①全ての教科における言語活動の充実 ②主体的な学びを引き出す授業づくりの工夫 ③家庭学習の充実に向けた家庭への働きかけ等 |
|--|

なお、一昨年度から進めている、授業のはじめに「目標（めあて・ねらい）」の提示と、最後に「振り返る活動」を計画的に設定した授業改善、言語活動の充実についても引き続き、各学校での組織的な取組の構築をお願いします。

さらに、昨年度に引き続き、各学校においては、全国学力・学習状況調査問題の活用とともに、調査結果を分析し、それぞれの児童生徒の実態を把握していただき、日々の授業や個別のきめ細かな指導に役立てていただきますようお願いいたします。

また、分析結果等については、家庭・地域への情報共有や説明を行い、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの学力を育む取組を進めていただくことが重要です。

保護者の皆様へ

児童生徒質問紙調査結果からは、生活習慣、読書習慣、家庭での学習習慣において、依然課題が見られます。

家庭での学習に対する環境づくりに対して、ご理解・ご協力をお願いします。

地域住民の皆様へ

県では、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの学力を一層育むため、県民総参加による「みえの学力向上県民運動」を展開しています。

地域住民の皆様には、子どもたちが自己肯定感・自尊感情を持ち、安心して学び、生活できる環境づくりや、地域における子どもたちの居場所づくりなどへのご協力をお願いします。